

美術 I 課題プリント①

はじめまして、美術 I を担当する高吉小夏です。今回は新型コロナウイルスの流行に伴う休講により授業プリントが行えないため、プリントという形で課題を出します。この課題は授業の評価に反映するので、真面目に取り組むようにしてください。

今回は、課題の提出を加点します。授業では、課題の提出をもって出席となるので定められた期限に必ず提出してください。授業内では出席とともに課題は必ず提出しましょう。提出期限を過ぎたり、内容が不十分なままでの提出は、個人の成績に大きく影響することを理解しておいてください。

1. 自己紹介カード
2. 自分の好きな作家さがし
3. デッサンの基礎プリント

1. 自己紹介カード

プリントに沿って自己紹介カードを書いてください。

自由に記述してください。授業中に全体の前などで、自己紹介してもらうことはありません。どうしても書けない、書きたくないところは空欄でも構いません。好きなこと、もの、人、マイブームなどの欄はできるだけたくさん書いてください。

2. 自分の好きな作家さがし

自分の好きな作家についてプリントを書いてください。作家は、美術のジャンルにかかわらず自由に選んで構いません。(絵画、版画、彫刻、陶芸、デザイナー、イラスト、アニメーター、漫画家など)既に自分の好きな作家がいる場合は、教科書や本、パソコンなどを使って新しく探してみてください。調べても、わからない項目は空白でも構いませんが、できるだけ埋めるようにしてください。

3. デッサンの基礎プリント

教科書を見ながら、問題に沿ってプリントを完成させてください。鉛筆を削る際は十分に注意して行うようにしましょう。

デッサンの基礎

()年()組()番号 名前

美術 I の教科書、P128～P131を見ながら、空欄に当てはまる言葉を埋めてください。

鉛筆デッサン

デッサンすることは()をしっかりと観察し、描くことを通して()
を鍛えることである。

鉛筆の削り方

鉛筆を持つ手の()をカッターナイフの背にあて、鉛筆を
()カッターナイフを()ようにして削る。
デッサンでは鉛筆を()使うことが多いので()を長めに出す。
()の部分を長く削り芯と()につなげる。この部分が短いと芯
が()やすくなる。鉛筆削り器は使わないようにする。

鉛筆の持ち方

持ち方によって多彩な表現ができる。様々な持ち方を試し工夫してみよう。

鉛筆の持ち方を3種類書いてください

- 1
- 2
- 3

実際に鉛筆をカッターナイフで削り、(安全には十分に気を付けて行ってください。)3種類の
表現を用いて下の空白に描いてみましょう。

--	--	--

好きな作家さがし

()年()組()番号 名前

作家名

生年月日

出身地

作品ジャンル

なにで、その作家を知ったか。

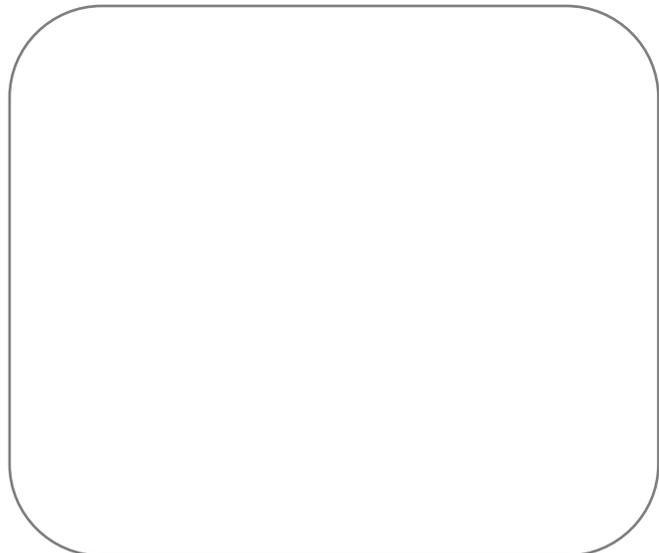
なぜ、その作家が好きなのか、理由

自分がその作家の作品の中で、一番好きな作品。またその理由。

作品名

理由

作品を絵で描いてみよう



自己紹介カード

名前

誕生日

部活動

好きなこと、もの、人、マイブームなど

嫌いなこと、もの、苦手

()年()組()番号 名前

美術でしたいこと、してみたいこと

フリースペース